

言々火を吐く熱辯に 尊い護國精神を説く

千三百名出席の内郷政友支會總會に 臨席の八角鈴木兩代議士

石城政友部内郷支會總會に臨席の岩手縣選出代議士鈴木八角三郎氏は、鈴木代議士と共に昨十一日午前十一時、十六分綴著、縣頭在郷軍人の出迎へを受けて、磐城支會記念館に入り十一時より同所に於て男女青年團、在郷軍人、役付従業員等三百餘名出席の建國祭に於て、兩代議士共非常時強調の講演を試み、更に午後零時半より町坑少年團約百名の發會式に臨み、兩代議士何れも井上務主任紹介の下に再び講演の上同五十分より三度根根少年團發會式に於て同様講演(紹介山崎務係同上)をなしたる上、二時から昭和館の政友支會總會に於て帝國の現状と世界の大勢に就き八角中將、鈴木代議士の願で大獅子吼を試み時節柄千三百餘の全縣衆に多大の感動を與へ萬雷の拍手に送られ、中將は二時十六分、鈴木代議士は三時二十六分發にて政界の風雲急なる東京に戻つた。

非常時強調

渡邊嬢優勝 卓球大會戦績

第四回郡下女子卓球個人選手権大會は昨十日午前十時より磐城高女校に開演、印等詳細に検査を行ひ無事左の戦績で磐城渡邊嬢が優勝した。

渡邊嬢	1勝
根本	1勝
根本(日)	2水竹(女)
渡邊(女)	1葉權堂野(女)
決	勝
渡邊	1勝
根本	1勝

地方米大量出荷

高値を豫想して 各農家意氣込む

今午二月平農倉に行はれた、因に同倉昨年度保護者郡農業倉庫物共同販賣會は九十四名内男女一名で明治待たされ簡井組請負の下に着

平一五等二	一、外六七
大野一四等二	一、五等
九三	一、外一五
五等一〇〇	一、外二八
渡邊一五等九	一、外八
七	一、外一〇
玉川一三	一、外二
五等一七	一、外二
谷一五等六〇	一、外一〇
計九百三	一、外一〇

平支部新設

現制を廢止して 團體募集に當らしむ

シヤンワローリ
ストビニローリ

白水阿彌の第二回修理

郷土の史的時事解説(二)

本堂宇の特別保護建造物並に内
頃安置五佛像國寶指定に就て

詩人 早春の夜を語り合ふ

早春の夜を語り合ふ

昨夜宵谷口で有志の歓迎晩餐會

頻々たる交通禍

店頭を毀した上 助手の頭を割る

若い助手操縦を誤る

金比羅祭の人出

二十四車を増結

鐵道の乗客吸収準備

頻々たる交通禍

去る九日午後二時頃湯本町で難貨商古川清吉ウキンノ字笠井四二自動車乗務員木下三郎に飛び込み柱、窓硝子を破り、内郷村大字小島宇新町十餘圓ノ野口には前額部骨二大勝利子方の乗合自動車に運する重傷を負はせ、今車に助手野口利秋(三)を同十二日平署に檢舉された。湯本署前を運轉中誤つ

店頭を毀した上 助手の頭を割る

若い助手操縦を誤る

避けて損ねて大怪我

避けて損ねて大怪我

現場監督の自動車禍

避けて損ねて大怪我

現場監督の自動車禍

避けて損ねて大怪我

現場監督の自動車禍

避けて損ねて大怪我

現場監督の自動車禍

避けて損ねて大怪我

現場監督の自動車禍

避けて損ねて大怪我

現場監督の自動車禍

避けて損ねて大怪我

現場監督の自動車禍

避けて損ねて大怪我

現場監督の自動車禍

避けて損ねて大怪我

現場監督の自動車禍

吐言を苦しむ

母から捜索願

吐言を苦しむ

母から捜索願

吉田眼科病院

吉田眼科病院

平町六丁目
電話 三〇九番

吉田眼科病院

平町六丁目
電話 三〇九番

吉田眼科病院

平町六丁目
電話 三〇九番

吉田眼科病院

平町六丁目
電話 三〇九番

吉田眼科病院

平町六丁目
電話 三〇九番

吉田眼科病院

平町六丁目
電話 三〇九番

吉田眼科病院

平町六丁目
電話 三〇九番

吉田眼科病院

平町六丁目
電話 三〇九番

吉田眼科病院

平町六丁目
電話 三〇九番

小兒科

平町南町五〇番地
志賀醫院
電話 一六二番

腸胃科

内科
胃腸病科
花柳病科
性病科
皮膚科

鑛業株賣出

第一鑛業株(全額拂込)五分配當
相場二拾二圓三十錢位(年利歩強)
御報次第店員參上詳細御説明
致シマス。

角治株式店

福島縣平町南町五〇番
電話 七三番

高柳耳鼻咽喉科

平町南町(電話三三六)
醫學博士高柳博明
(入院應急)
(自炊ノ便アリ)

流行ノ下駄ト草履ハ

南町 三井八キモノ店
電話 一八一番
(小借サン入用)

内臓外科

レントゲン線
醫學博士 諸橋 彌
新川町二七(電四六四)

木村醫院

平町六丁目
電話 三〇九番

吉田眼科病院

平町六丁目
電話 三〇九番

吉田眼科病院

平町六丁目
電話 三〇九番

吉田眼科病院

平町六丁目
電話 三〇九番